

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語 英語】

<p>書名 項目</p>	<p>NEW HORIZON English Course</p>	<p>2 東 書</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>	
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・Unitの扉ではUnitの目標やPreviewによって、題材の内容や新出表現の使用場面を想起しながら学習に取り組めるよう工夫されている。 ・各Unitでは、Unit Questionをタイトルに設定し、Unitの最後に生徒自身が自分の考えをまとめる活動に取り組むことで、単元を通して学習してきた知識を活かし、思考を深められる構成となっている。</p>
	<p>○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点</p>	<p>・Read & Thinkでは、Unitの題材に沿ってスピーチや伝記など多様な文章を掲載している。タイプによって設問を変えながら、概要をつかむ、詳細を押さえる、思考して表現するという学習の流れに沿って生徒の思考力、判断力、表現力を高める構成になっている。 ・Unit ActivityやStage Activityではペアで考えを伝え合う言語活動や、グループで協働的に課題に取り組む場面が設定されている。</p>
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・各単元は扉、Part、Read & Think、Unit Activityで構成されている。各Activityをスモールステップで積み上げてUnit Activityにつなげ、年3回のStage Activityでは統合的な言語活動が設定されている。 ・Activity、Unit Activityで継続的に言語活用の力を伸ばし、5領域の統合的な学習活動となるStage Activityを終えたところで、巻末のCAN-DOリストをもとに目標の達成度を4段階で測れる構成になっている。 ・Real Life Englishでは実生活に即した場面設定で「聞く」「やり取り」「書く」の各技能に特化した力を伸ばすことができる仕様となっている。</p>
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>	
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・PreviewやKey Sentence、ActivityではUnitのGoalと関連付けながら目的・場面・状況を想定して表現活動に取り組める内容となっている。 ・他教科の題材と関連付けながら学習に取り組む、教科等横断的な視点を取り入れた学習課題が設定されている。 ・調査結果の発表等の表現活動に取り組みせたり、SDGsに関連した題材を扱ったりして、世界の問題の解決にあたる視点を与えるような工夫がされている。</p>	
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・本文や題材に関連する多様な動画コンテンツや、表現活動をサポートするための思考ツールを、二次元コードから利用することができるようになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・発信まで身につけさせたい単語については、繰り返し提示することで定着を促している。</p>	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語 英語】

<p>書名 項目</p>	<p>SUNSHINE SUNSHINE ENGLISH COURSE</p>		<p>9 開隆堂</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・とびらに GOALS として、単元の目標が提示されていることや、単元全体についての説明や単元を貫く問いの提示があり、各パートの最上部にも提示されている。 ・とびらで学習の見通しを立てたり、各コーナーでの自己評価を重ねたりすることを通して、自分の学習を調整できる構成になっている。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点</p>	<p>・本文終了後にその内容を再話する活動（Review & Retell）では、本文の内容を整理して自分の言葉で話すことができるよう工夫されている。また、単元末の Action では、題材に関連したテーマの自己表現活動が設けられており、思考力・判断力・表現力を育成できるよう構成されている。 ・単元ごとに、単元に関連した話題の Small Talk が提示されていたり、単元終わりの Part3 の Think のコーナーで単元を貫く視点を考えさせる問いがあったりすることで、生徒同士が内容を共有できるように工夫されている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・とびら、Scenes、Tuning in、本文、Review & Retell、Action が設定され、単元を通してストーリーが一貫している構成となっている。 ・Action では単元出口の自己表現活動が設定されており、本文の題材に関連した自己表現活動を行うことで、題材に対する深い理解を促すとともに、学習した内容がどれほど定着したかを確かめることができる。 ・Our Project では、生徒が自ら調べた内容をグループで共有し、プレゼンテーション原稿やポスターを作成する協働的な学びを積み重ねることができる場を多く設定している。</p>	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・他教科との横断的な指導に配慮した題材を多く取り上げている。身近なテーマ、社会問題、国際貢献に関する話題まで、多岐にわたっている。 ・Power-Up のコーナーでは、実生活に即した具体的な目的や場面・状況を設定し、実践的かつ技能を有機的に関連付けた活動を行えるように工夫されている。 ・3 学年を通して SDGs に対応した題材がバランスよく取り上げられており、問題発見・解決能力を促す視点を取り上げている。</p>		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・基本本文の進出表現のポイントに該当する部分や、新出語欄の発信語彙は太字や文字色で示されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・A4判を採用し、生徒の深い理解を助けるイラストや写真を豊富に掲載して、ゆとりある紙面になっている。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語 英語】

<p>書名 項目</p>	<p>NEW CROWN English Series</p>	<p>15 三省堂</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・とびらでは、写真や動画などを使って題材を導入し、あるいは場面や状況を設定して、背景知識の活性化や学習の動機づけを行っている。また、簡単なインタラクションをするための問いが設定されている。 ・とびらには、レッスンの最後に行う Goal Activity を提示し、ゴールを見据えながら学習に取り組めたり、Lesson Preview では、場面と目標を示し、レッスンを通してどのように学んでいくのか、見通しを立てて学習を始めることができたりする構成になっている。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツとして、題材の関連資料を動画で見ることができる。レッスンのテーマやトピックの背景知識を増やしたり、学びを広げ深めたりする工夫がされている。 ・Part では Small Talk、Exercise、Think about Yourself があり、ペアで伝え合う活動を基本としている。また、Goal Activity Project では、文章を書いてペアで交換し、感想を言ったり、アドバイスしたりするステップを設けている。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の設定、活動、振り返りというサイクルの中で、生徒が主体的に学びにかかわり、学習を自己調整する力を養うための工夫がされている。 ・Goal Activit では、レッスンごとに「読むこと」「書くこと」「話すこと」のコミュニケーション活動に取り組むことができ、単元のまとまりとレッスンの構造が明確になっている。 ・Project では、生徒の作品を提示し、それらを用いての発表など、地域交流や国際交流の活動を通して、生徒のコミュニケーション能力とグローバルな視点を育成できる構成になっている。
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>	
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連性を持たせる題材や英語の歌を扱っている。 ・CLIL や ESD の考えに基づいた学習へと発展させている。 ・Further Reading や Further Listening では、楽しんで読める題材や、世界の文化への興味関心を高め社会の課題について深く考える題材を取り上げている。 	
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりや学習要素が定位置にあり、全ての生徒への配慮がされている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだことを振り返るために第1学年の冒頭に配置されているコミュニケーション活動（Starter）と絵辞典（My Dictionary）は、誌面の幅を短くして、Lesson 1以降でも素早く参照することができる。 	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語 英語】

<p>書名 項目</p>	<p>ONE WORLD English Course</p>		<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・1年生では中学校卒業までの目標を、2年生以降では1年間の目標を立ててから学習をスタートすることで、見通しをもって学習活動に入れるよう工夫されている。 ・Lessonの扉ページではLessonのGoalを「内容理解」と「活動」に分けて提示し、学習の見通しを立てることができる。また、扉には題材に関連した写真やリスニングがあり、学習への動機づけを図っている。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点</p>	<p>・Think & Try!、Read & Try!、Task Projectでは、生徒の興味関心を高めて自身の気持ちや経験を表現できる言語活動が設定されている。 ・Projectの発表活動ではグループで協働して取り組んだり、改善を図ったりすることができるよう設定されている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・各Lessonは基礎的な内容理解や知識・技能を定着させ、Read & TryやTaskでGoalへの達成度を振り返る構成となっている。 ・Grammarでは文法事項の確認のほか、Let's Useで新出表現を含んだやり取り例をもとにアウトプットをする場面が設定されている。 ・5領域を統合的に活用するProjectでは、Lessonで学んだ知識や表現を活かすとともに、Lessonで扱った題材について自分事として捉え、世の中の課題を解決するために考えることができる課題になっている。</p>	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・Useful Expressionでは日常的な場面と言語材料を扱うことで、多様な場面を想定して状況に沿った英語表現を練習できる工夫がされている。 ・Tipsでは5領域を高めるためのアドバイスを場面とともに提示し、各技能の基礎的な力を底上げする内容となっている。 ・SDGsに関連した題材を取り上げ、生徒にとって身近な話題を中心に、多様な社会・文化への理解、進路や将来のことへと考えを広げる題材を設定している。</p>		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・学習者用デジタル教科書では録音・再生機能を設け、ネイティブの音声と比較しながら繰り返し練習できる仕様になっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・手書き文字に近いフォントを1年生のLesson3までの本文やTask、Tipsで扱っている。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語 英語】

書名 項目	Here We Go ! ENGLISH COURSE	38 光村
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各 Unit の扉ではタイトルや絵、写真を使って題材への興味付けを図っている。単元目標を確認し、学習の見通しをたて、Listen や Watch などの活動を通して、Unit の概要を理解する工夫がされている。 ・各 Unit は扉、Part、Goal で構成され、各 Part では目的・場面・状況に沿って基本的な知識・技能を習得し、Goal で発表につなげている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・You Can Do It!では Unit の既習事項を活用し、思考力・判断力・表現力を高める工夫がされている。 ・Part では、お互いにたずね合ったり、感想を伝えあったりする活動が設定されている。また、言語活動を録画し、自分の活動を見直したり、相互に鑑賞したりする活動も設定されている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各学年、各学期、各教材の目標を構造化して示している。本文は3年間のストーリーを通して、生徒が登場人物に感情移入しながら、目的・場面・状況に応じた英語を学習できる内容になっている。 ・Unit の最後にあるふり返りでは、巻末の Can-Do List で示された技能目標とつなげて学習目標の達成度を評価することができる。 ・You Can Do It!や Let's Talk!でやり取りや発表活動を行うことで、互いの違いを理解・尊重し、他者と協働しながら学ぶ場を設定している。また、話すトピックルーレットやモデル動画など、協働的な学びを支援するコンテンツが設定されている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・各単元の構造や系統を整理し、より着実に英語を使う力を身に着けるために繰り返し触れ、活用できる工夫がされている。 ・相互関係のある Unit と Look Back で、既習内容を活かし思考力・判断力・表現力を高める工夫がされており、知識・技能を活用して言語活動に取り組める工夫がされている。 ・意見に対しての賛否や理由、自分の意見を伝える活動を通して、多様な考えを互いに理解し、思考力・判断力・表現力を養うことができる構成となっている。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・各 Unit にある二次元コードからその単元の内容を確認することができる。文章や語彙だけでなく、アニメーションでの文法解説や本文のストーリーの実写ドラマを視聴することができる。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・巻末の英語の学び方ガイドを通して、生徒が学んだことを整理できるよう工夫されている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語 英語】

<p>書名 項目</p>	<p>BLUE SKY English Course</p>	<p>61 啓林館</p>
<p>内容</p>	<p><生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか></p>	
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標がUnitだけではなく、全ての単元で提示されている。 ・各目標はInputとOutputに分けられており、学習の見通しを立てるよう工夫されている。題材に関連する英文を聞き、生徒自身についての問いに答える活動を通して題材の概要をつかみ、動機づけを図る工夫がされている。 ・各UnitはScene、Target、Express Yourselfの流れになっており、本文の内容理解から語彙や文法に触れ、目的・場面・状況に応じて自己表現へとつながるよう工夫されている。
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・各Unitには目標に応じてRead(Listen) & ThinkやThink & Speak(Write)が設定されており、段階的に思考を深め、表現する活動へとつながるように構成されている。 ・ProjectやLet'sシリーズでは、生徒が書いた文章を読み合い、アドバイスを伝えあうピアラーニングが設定されている。
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年では3回のProjectが配置されている。既習事項を活かしながら、モデル英文の内容理解、思考ツールを用いた内容整理、表現活動という流れに沿った技能統合的な学習活動となっている。 ・Unitの目標に合わせ、4技能に焦点を当てたThinkシリーズの活動が設定されている。また、Unitの目標達成を振り返る内容となっている。 ・Let'sシリーズでは日常的なテーマを取り入れながら各技能におけるコミュニケーション能力の育成を図るよう工夫されている。
	<p><教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか></p>	
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・Enjoy ChattingがUnitごとに即興的な英語でのやり取り活動として設けられている。また、本文に関連する話題を用いて、取り組める活動となっている。 ・ProjectやThinkシリーズでは、発表活動の前にメモを作成し、メモに書かれた情報に基づいて即興的に発表する構成になっている。 ・題材を通して今日的課題について、生徒が自分事として考えられる工夫がされている。 	
<p>その他</p>	<p><資料の構成・配列や表記・表現></p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書内の二次元コードからその単元の文章や語彙の確認ができる。また、アニメーションでの導入や、新出文法の解説動画も確認することができる。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の学び方では、英語学習を自発的に進められるように語彙・音声・表現の観点で掲載している。 	